

### 1 調査の目的

高知県において、継続的なダイオキシン類濃度調査により、地域の汚染の状況を把握することによって、発生源の状況や高濃度地域の把握、排出抑制対策の効果の把握等を行い、ダイオキシン類対策の基礎資料とすることを目的としています。

### 2 調査地点

- (1) 公共用水域水質 24 地点
- (2) 公共用水域底質 23 地点
- (3) 地下水質 3 地点

### 3 調査結果の概要

#### (1) 公共用水域水質

ダイオキシン類濃度は、0.044～0.73 pg-TEQ/L(平均値0.17 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

#### (2) 公共用水域底質

ダイオキシン類濃度は、0.20～35pg-TEQ/g(平均値6.8g-TEQ/g)であり、すべての調査地点で環境基準値(150 pg-TEQ/g)を下回っていました。

#### (3) 地下水質

ダイオキシン類濃度は、0.035～0.061 pg-TEQ/L(平均値0.044 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

表1 平成19年度結果集計表

媒体	区分	測定地点数	測定結果			単位	環境基準
			最低値	最高値	平均値		
水質	河川	20	0.046	0.73	0.20	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下
	湖沼	0	-	-	-		
	海域	4	0.044	0.072	0.058		
	計	24	0.044	0.73	0.17		
底質	河川	20	0.20	35	6.6	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下
	湖沼	0	-	-	-		
	海域	3	2.6	13	8.1		
	計	23	0.20	35	6.8		
地下水質	-	3	0.035	0.061	0.044	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下

pg: 1兆分の1グラム